【別紙4】東北電力の節電の取り組み

1. 東北電力企業グループにおける節電対策

○当社ならびに当社企業グループでは、昨年に引き続き、オフィスにおける電力使用の大幅な抑制など徹底した節電対策に取り組んでまいります。
○具体的には、7月から9月までの期間、当社企業グループ各社がオフィスビルにおける使用電力30%削減（平成22年度同月実績比）を目標として、室内温度28℃の徹底や日中の執務室等の原則全消灯、エレベーターの間引き運転などにより使用電力の大幅な抑制に取り組みます。

	項目	具体的実施事項	東北電力本店ビルにおける節電効果(試算値)	
			22年度実績	節電効果(削減率)
空調	温度設定	・室内温度28℃の徹底 ・クールビズの実施(5月18日から9月までの期間、地域事情を踏まえて柔軟に対応)	1,500kW	△440kW (約29%)
	利用時間制限(短縮)	・昼休み、業務時間終了後の原則運転停止(室内温度に留意し実施)		
	エリアの制限	・不在時の休養室およびロッカールーム等の空調利用停止		
照明	照度の低減	・執務室および共用スペース(ロビー、廊下等)の蛍光灯の間引き	380kW	△250kW (約65%)
	利用時間の短縮	・日中の執務室、共用スペース(ロビー、廊下、エレベーターホール等)の原則全消灯(照度に留意し実施) ・終業時の一斉消灯および残業時の使用箇所のみ再点灯 ・広告照明の停止 ・夜間の街灯の最小限の照明利用の徹底		
給湯等	不要な給湯の停止 電気設備の効率的利用	・トイレ手洗い給湯の停止 ・自動販売機の一部停止および稼動自動販売機の照明消灯 ・9時以降の電気ポット、コーヒーメーカー、給茶機の原則使用停止	380kW	△10kW (約2%)
機器	OA機器等の効率的利用	・休憩時間、帰宅時等におけるパソコン等のプラグ抜き徹底 ・パソコンのスクリーンセーバー等の解除と省エネモード設定 ・テレビ、ビデオ、携帯電話充電器など事務機器等の不使用時のプラグ抜き徹底	140kW	△10kW (約7%)
エレベーター等	エレベーター利用制限	・9時以降の間引き運転の実施	80kW	△45kW (約56%)
	エスカレーター停止	・常時停止		
	自動ドア利用制限	・自動ドアの一部停止(手動ドア併設の場合等)		
合計			2,480 kW	△755kW (約30%)

2. 「夏季需給対策強化期間」の設定

◆当社では、今夏については、昨年6月に設置した「電力需給非常対策本部（本部長：海輪誠社長）」のもと、全国共通の節電要請期間となっている7月から9月を「夏季需給対策強化期間」と設定し、発電設備の重点パトロールや節電定着への理解活動などを計画的に実施していくこととしております。